

雅ねえの、みんなで取り組む

獣害対策講座 Vol.18

※タイトルに記載している『雅ねえ』の表記は、本人の原稿どおりで掲載の了承を得ています。

おさきいと予習

前回

獣害を防ぐうえで大切なのは畑に来ている動物が何なのか知っておくこと。

とくに現場ではテン、アナグマ、タヌキ、ハクビシン、アライグマなんか混同されていることも多い。で、その獣種の見分け方と潜み場のこと話したんだけど覚えてるかしら？。

今回

登るのが得意なやつとか穴掘りが得意なやつによって対策も違ってくる。

で、今回はそうしたサル、シカ、イノシシ以外の中型の連中に対する対策だよ。

対策の基本はみな同じなんだけど

何度も何度も何度も言いますが、家屋や田畑、集落に動物が居つくのはあなた自身が餌付けしたから。だから、対策は餌付けやめるだけ。

とにかく動物はみんな、安心して食べる所に住みたいだ

け。食べ物と潜み場さえそろえば餌付けは進む。

そして、あなたが餌や潜み場に無関心、たまたま動物に出会っても、知らん顔、見ても見ぬフリしてたら、人がいても出てくる。

この前、たまたまホテルのテレビ見てたら旅番組やってた。

ある温泉旅館の日本庭園眺めながらリポーターが「アツ、来ました、来ました、あれはタヌキですね。アツまた来ました、タヌキの一家みたい。自然豊かな秘湯満喫してまーす」って映った庭園、わざわざタヌキの餌用食器置いて客室から見えるように照明までしてた。

あちこちで餌あげ禁止条例つくってる自治体も多いからね。

若女将もリポーターも美人だったけどアホに見えなし、平気でこんな番組企画するバカが無性に腹立たしかった。

自分に腹立てるくらいがいい

庭に来るタヌキを売りにする旅館やいつまでもサルの餌付けやめない高崎山みたいな餌付け確信犯は論外。

でも、堆肥になるからって思いで毎日菜園の片隅に野菜クズや生ゴミ捨てているのも、同罪かもね。

農作物以外で気づかないままあげてる餌、これだけでもあげていた自分に腹たてるくらいでなきゃ。

家まわりであげてる餌

もし、あなたが生ごみは堆肥になるなんて考えて裏の畑に投棄していたら、それは動物への年間を通じた餌あげ。

いくよ、まずはシンクの三角コーナーにたまった餌から。生卵の殻にちよつと残った白身、ブドウやスイカ、メロンの皮、カボチャやトウガンの種、焼き魚の頭や骨、出汁をとった後の煮干しや鰹節、手羽先や手羽中の小骨：みんな餌。

中でも甘い巨峰の皮やメロンの皮なんて、ありついたらアナグマやタヌキにしたら超ラッキーなんだからね！

次に案外多いのが、室外で飼ってるイヌの餌。庭のカキの木につないで木の下に犬小屋おいて、毎日ペットフードや残飯あげてる昔ながらの飼いや方。

室内犬みたいに体重に合わせた餌量を定時にあげるみたなきちんとした世話できてない。

けど、お腹すかせたら可哀そうって思うのか、餌は多目。イヌって満腹だったり、残飯が腐敗し始めて異臭がすると平気で残しちゃうでしょ。

固定もしてない、でこぼこの古いアルミ鍋なんかをイヌ用食器にしてると、食べてる食器がくるくる回ったり移動して、イヌ君の首輪の鎖の圏外に出ちゃって食べられないってこともおきる。

だから、飼い主が餌をあげに来たらタヌキも犬小屋横のツツジの陰でさっそくスタンバイ。

本人は犬一匹飼ってるつもりだけど、本当はタヌキ数匹飼っていて、ついでに犬も飼っている状態って気づいてないことも多い。

庭先果樹とそれ集まる虫や動物

イチジク、ビワ、カキ、スモモなどの庭先果樹も収穫しなきゃ動物の餌。

あっ、忘れるところだったけど、テン、タヌキ、アナグ